

# 文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

平成24年度・第1回サイエンスカフェを、次のとおり開催いたしますので、テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。



日時 平成24年5月25日（金） 19:00～20:30

場所 文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）

主催 日本学術会議、文部科学省

講師 今村 文彦さん（日本学術会議連携会員、東北大学災害科学国際研究所副所長）

ファシリテータ 西原 潔さん（日本科学未来館科学コミュニケーター）

テーマ 「古代に学ぶ津波科学－被災しなかった神社や津波堆積物分布が示唆すること－」

定員 30名

参加費 無料

申込み方法 事前申し込みでの受付となります。

「氏名」、「連絡先」、「5月25日サイエンスカフェ参加希望」と書いたEメールを、[stw@mext.go.jp](mailto:stw@mext.go.jp) (@は小文字) 宛にお送りください。



2011年3月11日M9巨大地震および津波の発生により、我が国での歴史上最大の被害が発生しました。13ヶ月が経った現在、被災地では様々な津波防災対策や復興計画が幅広く議論されています。甚大な被害を繰り返さないためには、従来の歴史に学びつつも新たな視点から減災対策やまちづくりを考えなければなりません。本講演では、現在までの調査で判明されつつある津波被害の実態と多くの教訓を紹介したいと思います。特に注目しているのは、神社仏閣の避災程度です。1000年以上の歴史を持つ神社の被災は100社のうち僅か2社と報告されています。その場所の安全性に加えて、神社仏閣の持つ防災・減災機能（ハード・ソフト両面）を考えたいと思います。